

# 小海町まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口ビジョン・総合戦略）の全体像

## ◆人口ビジョン

## ◆総合戦略の内容（平成 27～31 年度の 5 年間）

### 2040 年までの将来展望

### 基本目標（5 年間の目標値）

### 施策項目

### 主な事業

### 5 年間の重要業績評価指標（KPI）

2010 年の 5,180 人から  
**2040 年に 3,050 人を目標**  
 （推計結果 2,777 人に対して）  
 自然増減：出生率 1.71 を維持  
 社会増減：5 年ごとに  
     転入人口 13 人  
     転出抑制人口 17 人

(1)小海町に  
**安定した雇用を創出する**  
 ◆全就労者数 5%増加

農業持続・拡充支援  
 新規就農・担い手の確保

- 価格安定化支援
- 農産物加工直売所活性化
- 新規就農者支援
- 林業経営担い手促進
- 中心街まちづくり
- 雇用定住促進

- ◆過去 5 年間の年平均総出荷量維持
- ◆新規就労者（農林業）5 名確保
- ◆農産物加工直売施設来場者数 5%増加
- ◆町外から町内企業への就労者 5 名確保
- ◆土村・馬流地区の年間流動人口 5%増加
- ◆商工業に対する町民の満足度 3%増加

中心街の活力創出  
 新規就業環境の創出

地域資源を活用した振興  
 町の魅力の発信強化

- 小海駅利活用促進
- 観光宣伝
- 友好都市交流
- 空き家・空き別荘バンク
- インターンシップ

- ◆交流人口 1 万人増加
- ◆友好都市との交流人口 200 名確保
- ◆移住定住者 10 名確保
- ◆空き家・空き別荘成約件数 5 件

多面的な交流の促進

魅力ある住まいの提供  
 暮らしのきっかけの創出

- 結婚推進
- 子育て支援センター
- 子育て応援クーポン支給
- 高校生等通学費補助
- 北牧楽集館活用推進

- ◆婚姻数 5 組
- ◆5 年間の年平均出生数維持
- ◆「暮らしたいが難しいかもしれない」と「暮らしたくない」の割合 28%以下
- ◆子育て・教育環境の満足度 5%増加
- ◆図書館利用者数 15%増加

(2)小海町への  
**新しいひとの流れをつくる**  
 ◆交流人口 1 万人増加  
 ◆移住定住施策による  
     移住者 10 名確保

(3)小海町で  
**結婚・出産・子育ての**  
**希望をかなえる**  
 ◆5 年間の年平均出生数維持  
 ◆子育て・教育環境に対する  
     町民満足度 5%増加

結婚の夢を叶える

子どもを産み育てる体制支援  
 子育て世帯への経済的支援

知恵と生きる力を育む

魅力ある住環境の創出

コンパクト・タウンの推進

地域のつながり・結い強化

地域特性を生かした広域連携

- 住宅リフォーム助成
- 中心街まちづくり
- 北牧楽集館活用推進
- 集落再生支援
- 保健・医療・介護人材確保

- ◆宅地取得者 5 名確保
- ◆図書館利用者数 15%増加
- ◆住み続けたい町民割合 5%増加
- ◆医療・福祉環境の満足度 5%増加
- ◆交流人口 1 万人増加

## ◆総合戦略について

- 国が定めた「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、小海町版の「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定する
- 町の長期振興計画を尊重しながら、選択と集中の視点や重要業績評価指標を加味する
- 役場内に推進本部を置き、長期振興計画審議会を中心に、各種団体や町民の声を反映させ、検証と見直しを行う

第 5 次小海町長期振興計画  
 基本構想：平成 22～31 年度  
 後期計画：平成 27～31 年度

(4)小海町で  
**確かな暮らしを営み、**  
**地域の共存を図る**  
 ◆5 年間の平均転出割合 0.1%減少  
 ◆住み続けたい町民割合 5%増加